



Title	中岡成文先生の退職記念号刊行にあたって
Author(s)	浜渦, 辰二
Citation	メタフュシカ. 2014, 45, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/51542
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

中岡成文先生の退職記念号刊行にあたって

中岡成文先生は、1987年に大阪大学教養部助教授に就任、1994年から大阪大学文学部助教授に配置換えとなり、1996年に同教授に昇任、1999年には大学院重点化にともない大阪大学大学院文学研究科教授となり、2014年3月をもって退職されました。その間、2001年から退職まで、大阪大学大学院医学系研究科教授を兼任し、2005年から2007年まで、コミュニケーションデザイン・センターの初代センター長を兼任されました。このたび、先生のこれまでのご指導に感謝し、ご業績を記念するため、『メタフユシカ』第45号を退職記念号として出版することになりました。

本号の論文の冒頭に、中岡先生にゆかりの深い教員の文章を集めました。後輩の研究者かつ臨床哲学の同僚として(浜渦)、臨床哲学発足の時から中岡先生と歩みをともにしてきた同僚として(本間)、わずか1年間ではありますが助教を務めた同僚として(稲原)、それぞれ執筆しています。

先生のこれまでの研究を含む業績については、後の「功績覚書」でご紹介するとおりですが、思想史研究、現代哲学研究、臨床哲学の研究実践活動と多岐にわたり、さまざまなスタイルで、いくつもの分野をまたぐ論考となっています。2011年に総長の職を退かれた盟友・鷺田清一先生とともに「臨床哲学」専門分野を創設以来、これまで多くの学生を教えて社会に送り出し、多くの研究者を養成され、国際的交流にも尽力されて来ました。また、看護・医療・福祉の実践者たちと対話を重ね、授業外での学生の自主活動にも積極的に関与するとともに、学内および研究科内でのさまざまな研究マネジメントにも関わり、各種委員、委員長、室員を歴任し、さまざまな学会の委員、理事、評議員なども務めて重要な役割を果たして来られました。

以上のように臨床哲学の活動を15年にわたって支えて来た活動と業績によって後進の私たちがこうむった計り知れない恩恵に対して、ここに深く感謝申し上げます。永い間、ありがとうございました。

浜渦辰二